

窮屈で、美しい、
この町の中で。



木村 知貴

高見 ころろ 外波山 文明 内田 春菊

五十嵐 美紀 愛田 天麻 森 海斗

範多 美樹 高橋 信二郎 谷口 侑人

監督・脚本 大西 諒

撮影・音楽:寺西 涼 録音:三村 一馬
照明:石塚 大樹 演出・制作:梅澤 舞佳、福生 遼
美術:玉井 裕美 ヘアメイク:くつみ 綾音
題字:道田 里羽
宣伝企画:川口 順、山中 美友紀
宣伝イラスト:野本 修平 宣伝美術:鈴木 大輔

はこぶね



窮屈で、美しい港町で生きる、
視力を失った男。
“視覚に頼らない世界”の在り方と、
一人の青年の生き方を描きとり
話題を呼んだ作品が、
ついに劇場公開。

とある小さな港町で生きる、視力を失った男・西村芳則。さびれても美しいこの町で、感性を失わず生きようとする西村の姿が、周囲の人々の心を振らせていく——。

障害や介護、地方の疲弊といった厳しい現実を題材としながら、西村の知覚と感情を追うような、観賞者自身が感覚を研ぎ澄ませる独特な観賞体験が、観るものの心を惹きつける。

主人公の西村を演じるのは、多くの映画監督に愛され、数々の作品に花を添えてきた木村知貴。待望の長編主演作となる本作は、映画祭で上映されるや、その強烈な存在感と独特な佇まいがすぐさま絶賛された。

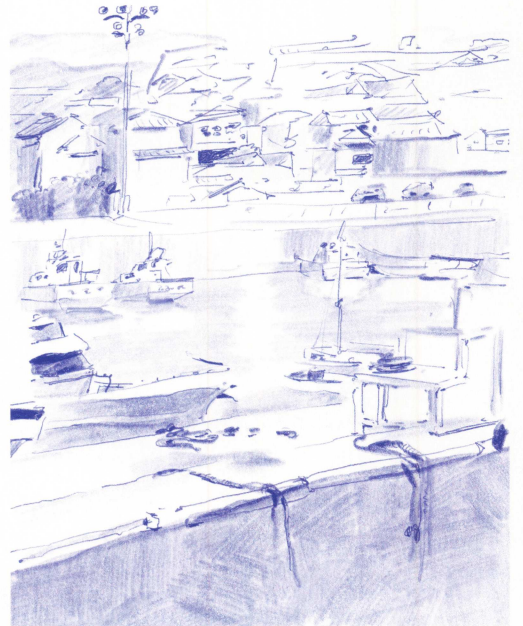
脇を固めるのは、一時帰郷し西村と再会する同級生を演じる高見ころこ。西村の母が他界後に、生活の面倒を見ることになった叔母を演じる内田春菊。認知症の進む祖父を演じる外波山文明など、実力派キャストら。監督は、本作で若手作家の登竜門となる田辺・弁慶映画祭、TAMA NEW WAVEでのグランプリなど、6冠を獲得した大西諒。

ゆったりとした独特なテンポで進みながら、人々の生活と葛藤が生々しく炙り出されていく。



事故で視力を失った西村芳則（木村知貴）は、小さな港町で、ときに伯母（内田春菊）に面倒を見てもらいながら生活している。かつて同じ通りの家から一緒に通学していた同級生の大畑（高見ころこ）は、東京で役者をしながら、理想と現実の狭間で憂鬱なときを過ごしていた。

ある日、西村は大畑と偶然再会する。町にはゆっくりと陽が落ち、そこで暮らす人々はそれぞれの帰路に着く。窮屈で、美しい、その町を眺める二人は、その景色にそれぞれの記憶と想像を重ねる。



木村 知貴 高見 ころこ 外波山 文明 内田 春菊

五十嵐 美紀 愛田 天麻 森 海斗 範多 美樹 高橋 信二郎 谷口 侑人

監督・脚本大西諒 撮影・音楽：寺西涼 録音：三村一馬 照明：石塚大樹
演出・制作：梅澤舞佳、稲生遼 美術：玉井裕美 ヘアメイク：くつみ綾音 題字：遠田里羽
宣伝企画：川口瞬、山中美友紀 宣伝イラスト：野本修平 宣伝美術：鈴木大輔
2022年 | 99分 | 日本 | シネマスコープ | 宣伝・配給：空架-soraca-film
© 2022 空架-soraca-film

<https://hakobune-movie.com>

2023年
8月4日
から
8月10日
まで公開

新宿駅東口 伊勢丹メンズ館隣 B1F
テアトルシネマグループ
テアトル新宿
03 (3352) 1846 ttcg.jp

2023年
9月1日
から
9月2日
まで公開

梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト 3F
テアトルシネマグループ
シネ・リーブル梅田
06 (6440) 5930 ttcg.jp

一般・大学・専門学校生 1400円 / シニア 1200円
※水曜サービスデー、TCGメンバーズデー適用可
※キネマ旬報社主催・映画検定1~4級の方、証明書持参で1200円